

PLANET vanvan

114

2017 Spring
Presented by
PLANET, INC.

プラネットヴァンヴァン

中国における消費財の 越境流通インフラ整備を目指して

上海家庭訪問調査結果のご報告

プラネット太くんの新☆ジパング見聞記

茨城

新しいネットワーク基盤のご紹介

PLANET PLAZA

ゴロネット ラボロトリー

プラン&ネット

プラネットEDIサービス品質改善に向けて

中国における消費財の 越境流通インフラ整備を目指して

2017年1月、株式会社プラネットは、上港集団物流有限公司、株式会社シノジャパン、ヤマトホールディングス株式会社と共同で、日本の一般消費財メーカーおよび卸売業と中国の小売事業者・ECモール出展事業者を結びつけ、貿易・物流・情報・決済・販路拡大までを一貫して提供する越境流通プラットフォーム事業を行う合弁会社を設立しました。

(合弁会社の概要は、P.3下の別枠をご参照ください)



今村 佳嗣
株式会社プラネット
執行役員
イノベーション推進室長



志賀野 芳宏
株式会社プラネット
イノベーション推進室

一般消費財のマーケット拡大のために

プラネット(以下、当社)は、消費財流通の情報インフラとなっているEDIサービスの安定的な供給、向上に努めるとともに、今後より一層業界の発展に寄与するため、2016年4月に「イノベーション推進室」を発足させました。同推進室は、既存の当社の事業から離れた自由な発想で、これから先の流通の未来を見据え、5年後、10年後に成果が出るような新しい取り組みに率先して挑戦し、業界に還元していくことを目的としています。

「私どもが今やるべきこととして、大きく2つの方向性を考えています。一つはAIなどの新しいテクノロジーを流通業で活用する方法を見出し、業界の効率化に貢献すること。そしてもう一つが、一般消費財のマーケットの拡大への寄与です。今後、日本の人口が減少し市場が縮小する中、外国人消費者への販路拡大が一つの重要なポイントになってくるのは間違いありません。そこで当社では、これまで数回にわたり、訪日外国人によるインバウンド消費の実態調査を実施してきました」(執行役員 イノベーション推進室長 今村佳嗣)。

インバウンド消費の実態調査から、日本の高品質な消費財は海外での需要が旺盛で、特に中国の消費者から非常に高く評価・支持され、上海などの大都市圏で増加している中間富裕層を中心に、「日本製品に囲まれて生活したい」というニーズが高まっていることがわかりました。その一方、中国国内のマーケットで日本製品を安定して購入できる環境が整っていないという現状が浮かび上がってきました。

そうした流れの中、当社は上海の大手国営企業である上港集団(中国)、シノジャパン(日本)、ヤマトホールディングス(日本)との共同で、日本から中国への一般消費財の輸出をサポートする、越境流通プラットフォーム事業を行う新会社を設立しました。

中国への商品流通の現状と問題点

中国への日本製品の流通ルートは、訪日観光客による購入

(インバウンド消費)以外に、さまざまなパターンがあります。主なものとしては、①ブローカーが日本で購入し中国で販売、②中国外の越境ECサイトからの購入、③現地法人あるいは商社を通じて中国国内の小売店やECサイトで購入、などがあげられます。これらの流通ルートは、個別最適化された(複雑かつ継続しづらい)取引が発生しやすく、流通全体のパフォーマンスが低下します。そのため、販売価格のチャネル間格差や、ブランド価値の毀損、予期せぬ問い合わせへの対応等、日本のメーカーにとってリスクの高い状況になっています。

また、日本のメーカーが単独で中国へ商品を輸出するのも容易ではありません。中国市場への進出を考える日本企業は多いものの、日本市場とは大きく異なる法規制、設備投資や人材の投入も必要なため、進出に踏み切るのは容易ではありません。

進出した企業においても、不慣れな税関や検疫手続き、あるいは棚貸し(小売の店頭を棚ごと買ってその分の料金を払う仕組み)といった中国独自の商習慣による手間やコストの問題に悩まされる可能性があります。店頭やECサイトではFTA(自由貿易協定)が締結されている韓国製品や大手欧米メーカーの製品、一部の中国国内メーカーによる模倣品との厳しい競争にさらされます。

流通ルートの個別最適化の影響で、自社製品の販売先や販売実績を把握しづらくなっています。そのため、在庫の調整や製造計画が検討できず、結果的に十分な利益が確保できなくなり、中国市場から撤退する企業も散見されます。

新会社は、こうした状況を打開し、さまざまな日本企業が中国への販路拡大を図れるよう越境流通インフラ面でのサポートを行い、安心、安全な日本の製品を継続的に購入していただける環境を整えることで、「中国の生活者の豊かな暮らしを日本製品が支える」お手伝いをしたいと考えています。

新会社とプラネットの役割

新会社のサービスを利用した日本から上海への輸出では、日本メーカーの商品は、日本国内での流通と同様に卸売業を活用し、ヤマトホールディングスによって、新会社が運営する上海自由貿易地区の保税倉庫にまとめて運ばれます。通関、検疫などの貿易手続きはすべて新会社が行い、ここから中国国内の小売店、ECサイトへと商品が流れる仕組みです【図】。その際、日本のメーカーまたは卸売業は、金銭的負担の大きい棚貸し契約ではなく、一定の仕入れ割合で中国小売業と取引を結ぶことができます。

今回の取り組みの中で、とくに重要な役割を果たすのが、当社のEDIに関する長年の知見を基に、国内ユーザーと新会社の間を接続するEDIサービスを開発提供すること、そして新会社と中国国内小売業との円滑な取引を支えるEDIサービスの開発・運用を当社が支援することです。日本で業務効率化の実績がある「標準化されたEDIサービス」の知見を中国の小売業との取引に適用することで、日本のメーカー、卸売業は、中国の小売店ごとの売り上げや在庫状況を把握することが可能

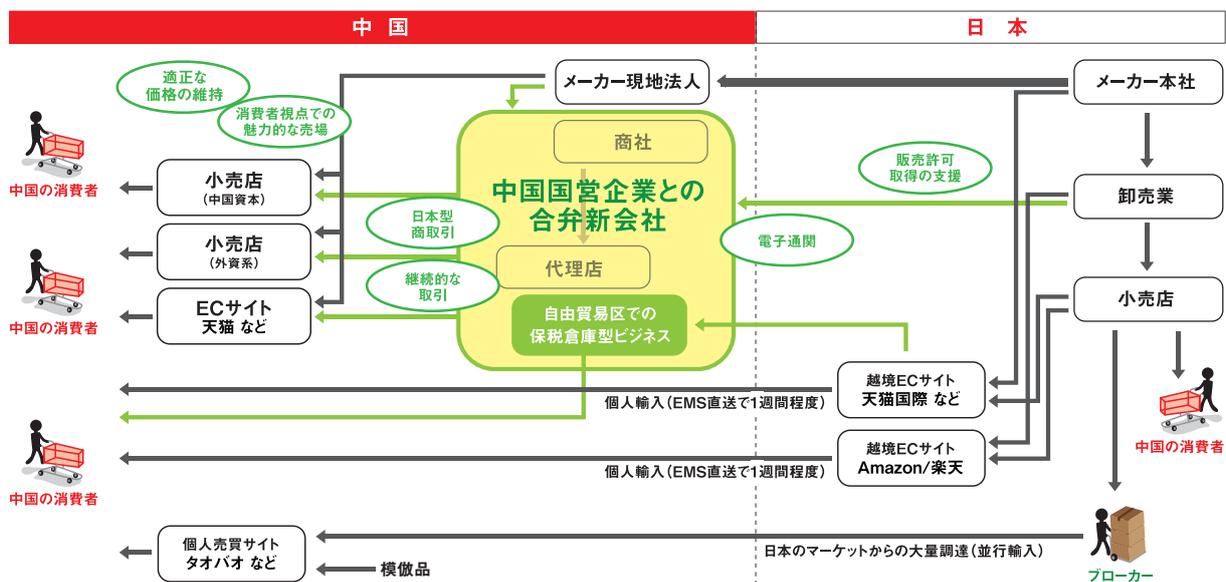
になり、効率的な製造計画や、販売方法の最適化を図ることができ。こうした日本型商取引が中国国内で定着すれば、継続的な商品流通が実現し、正規の日本製品を適正価格で安定的に販売できるようになります。すべての商品はデータとひもづいているため、流過程で模倣品が入りこむ可能性を極小化できます。

「今回の取り組みによって、大手メーカーだけでなく、中小メーカーの製品も、中国での販売におけるハードルが下がります。多様性は日本製品の魅力の一つであり、たくさんの日本のメーカー、卸売業にこの仕組みを積極的にご活用いただき、オールジャパンで中国マーケットに日本製品を訴求し、魅力的な棚割提案をして、業界全体の市場拡大につなげていっていただきたいと思います」(イノベーション推進室 志賀野芳宏)。

2017年1月に設立された新会社は、上海への日本製品輸出開始に向けて、準備を進めております。

これからも当社は広く業界の皆様のご意見を伺って、よりお役に立てるサービスの提供に取り組んでまいります。

【図】 日本製品の中国人消費者向け流通における新会社のポジション



会社概要

会社名

中 名……上海上港瀛東商貿有限公司(シャンハイジョウコウエイトウショウボウ)

英 名……Shanggang EDI-CHINA Trading Co., Ltd.

所在地……中国上海市宝山区

資本金……3,000万人民币元(約464百万円 ※ 1人民币元=15.46円で試算)

董事長……劉煒(上港集团物流有限公司 総経理)

総経理……李樹寧(株式会社シノジャパン 会長)

人員……董事6名、社員15名(予定)

設立日……2017年1月11日

事業内容……国際貿易・物流及び倉庫サービス・ネットワーク技術及び物流情報技術の提供他

上海家庭訪問調査結果のご報告

日本の日用品流通に携わるメーカー・卸売業をはじめとする読者のみなさまが、今後のインバウンド消費や越境ECへの対応を検討される際のご参考になるよう、当社は2016年12月、上海市に在住し、日本へ旅行する経済的な余裕のある所得層の家庭15軒を訪問し、日用品の購買・利用実態を調べました。

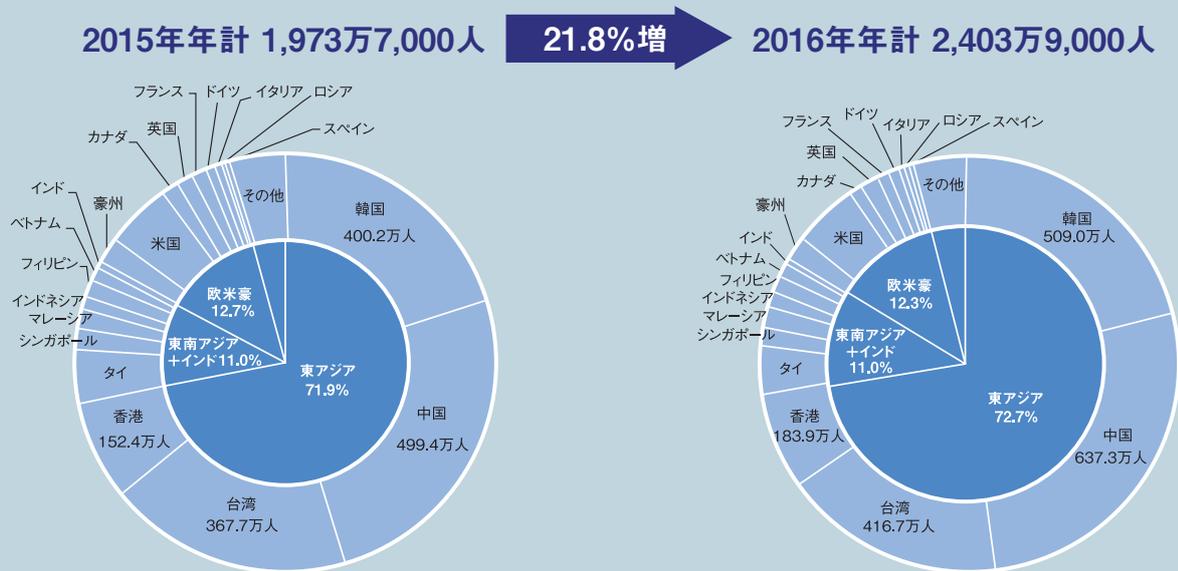
調査の背景

2016年に過去最高の2,403万9,000人を記録した訪日外国人旅行者のうち、国籍・地域別で人数と旅行消費額が最も多く(図1、図2)、旅行支出における買物代の比率が最も高かったのは、中国でした。

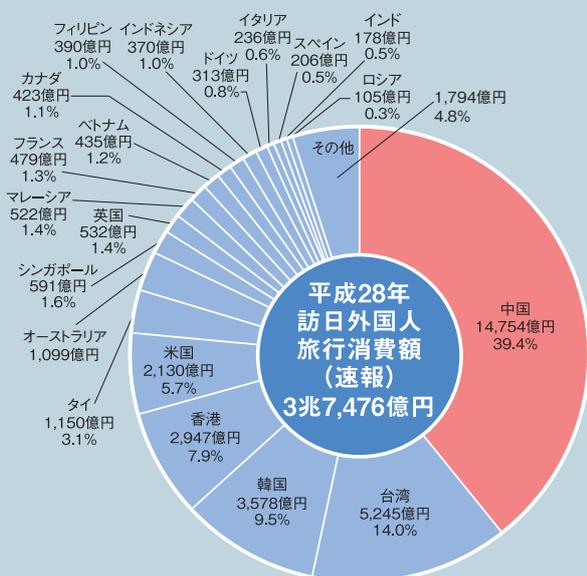
観光庁の「訪日外国人消費動向調査」は訪日外国人

旅行者の居住地についても調べていますが、訪日中国人が一番多い居住地は上海市という結果が続いており、平成28年10月～12月期には、全体の4分の1以上の26.6%となりました。(図3)

【図1】 訪日外国人旅行者(訪日外客数)シェアの比較 2015年/2016年 (出典:日本政府観光局)

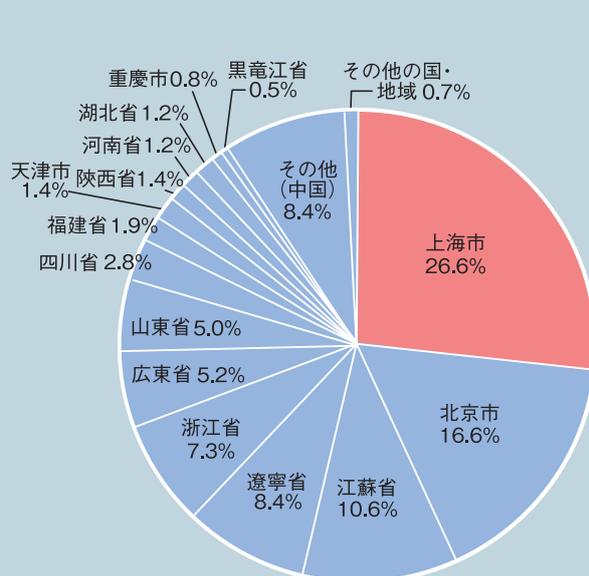


【図2】 国籍・地域別の訪日外国人旅行消費額と構成比



(出典:観光庁「訪日外国人消費動向調査」平成28年(2016年)年間値(速報))

【図3】 訪日中国人の居住地の分布



(出典:観光庁「訪日外国人消費動向調査」集計表 平成28年(2016年)10月～12月期)

上海市の概要

上海市は群馬県とほぼ同じ6,340.5km²で、2015年末時点の常住人口は2,415万2,700人です。同時期の総人口に占める割合は1.8%ですが、域内総生産(GDP)は2兆4,964億9,900万円で、中国全体のGDPの3.7%をカバーしています。

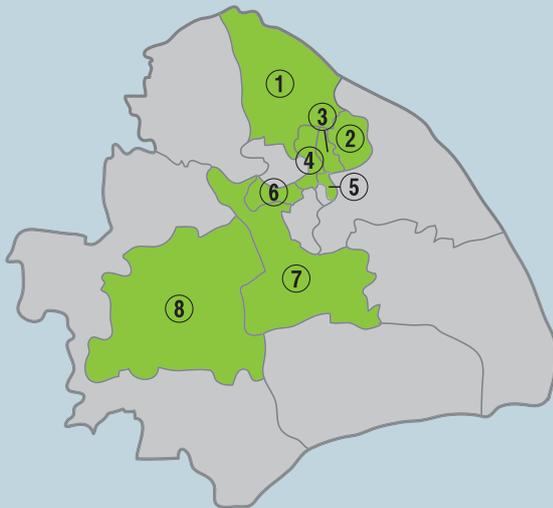
調査の概要

2016年12月7日から14日まで上海に滞在し、上海市全体で見たときに、トップの1割を占めるといわれる世帯年収500~1,000万円を目安とした15軒の家庭を訪問しました。(図4中の①~⑧が訪問先家庭の所在区です)

各家庭では2時間半かけて、リビング、寝室、衣類の収納場所、洗面所、浴室、トイレ、洗濯物を干す場所、台所を回り、日用品の購入や利用の状況、訪日経験の有無などについてヒアリングを行いました。

図4 | 上海市内における訪問先家庭の分布

- ①宝山区(1軒) ②楊浦区(3軒) ③虹口区(1軒) ④静安区(2軒)
⑤黄浦区(1軒) ⑥長寧区(2軒) ⑦閔行区(4軒) ⑧松江区(1軒)
※()内は、訪問した家庭の軒数です。



調査結果のポイント

今回私たちが視察した店舗、訪問した家庭は上海市全体からすればごく一部ですので、一般論として語ることはできませんが、各店舗には日本の商品が少なからず陳列され、調査で訪れた各家庭でも日本製品が多数使用・保管されており、日本の消費財が上海の市場に浸透している様子が伺えました。

また、日本の庶民感覚からするとかなり広く、インテリアも立派で、生活水準が非常に高いと思われる家庭も何軒かありました。

今回訪れた家庭はほとんどが共働きで、週に何回か「お手

伝いさん」が来て、家事のサポートをしていました。

なお、食器洗いや掃除用の洗剤など、お手伝いさんが使う日用品の銘柄選定については、お手伝いさんに任せる方、雇い主側でしっかりと指定する方、各家庭それぞれでした。

今回調査した15軒のうち、一戸建てが3軒、12軒はマンションでした。ただし、マンションでも室内の日当たりの良い部屋に洗濯物を干せる場所があり、部屋干しでもおいが気になることはなさそうに見受けられました。

また、各マンションの1階には大きなゴミ箱があり、毎日何度も回収されているので、いつでもゴミを捨てられる環境にありました。

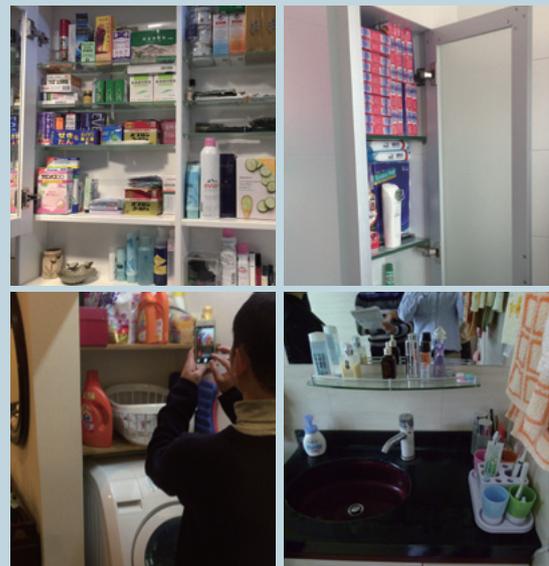
日本に比べると空気がきれいとは言いがたい上海ですが、ほとんどの家庭では窓を開けて常に換気していたため、室外と同様にコートやダウンジャケットを着たままでの取材となりました。また、のど用のOTC医薬品も多数見かけました。

有効期間3年の「沖縄県数次ビザ/東北三県数次ビザ」(※)を取得し、日本への訪問頻度が増えたご家庭もありました。その一方で、欧米志向の方も少なくなく、欧米の日用品・化粧品、ドイツ製の洗濯機や冷蔵庫もかなり見かけました。

共働きで忙しいこともあって、今回の調査で訪問した家庭の多くで、ネット販売を活用している様子が伺えました。利用している通販サイトとして、日本でも有名な「淘宝(タオバオ)」「Tmall」に加え、ウォルマート系列の「1号店」の名前も多く挙げられました。

今回の調査を通じて、上海が日本とは全く異なる市場であることを改めて感じました。

※個人観光で1回目に訪日する際に沖縄県または東北三県(岩手県、宮城県、福島県)のいずれかに1泊以上し、所定の要件を満たす場合には、有効期間3年、1回の滞在期間30日以内という「数次ビザ」が発給されるようになっています。



調査結果の詳細につきましては、プラネットホームページに後日掲載する報告書をご参照ください。

プラネット 上海家庭調査

検索

新★見聞記 グ

プラネットくんの



新横網の出身県で、県内の圏央道が全線開通、4月からは朝の連ドラの舞台、と最近話題の茨城県。海外からのツアー数が前期比1.6倍※、「トリップアドバイザー」が2016年に発表した“外国人からの関心が高まった都道府県トップ10”で2位に輝くなど、インバウンドの分野でも注目を集めています。今回は茨城の人気スポットを巡り、「IBARAKI」の魅力と、満足度を高めるための取り組みについてお話を伺ってきました。

※平成28年4月～平成29年1月までのツアー数実績。



東京へのアクセスが便利という好立地なこともあり、外国人宿泊数が年々伸びている茨城県。特徴的なのは、中国、台湾に次いで多いのがベトナムからのツアーだということ。茨城県は国内2位の農業県。そして、ベトナムも農業が主たる産業という系統もあり、ベトナムの研修生を茨城の農家で受け入れるように努力。さまざまな分野で交流が深まっています。

偕楽園

水戸駅から車で約6分のところにある梅の名所。毎年2月中旬～3月下旬には「梅まつり」が開催。満開の梅の中、華やかな振袖を着た「水戸の梅大使」が出迎えてくれる。県内では、ひたち海浜公園の次に、外国人観光客に人気の場所。

偕楽園で梅を鑑賞。旅の思い出に酒蔵で梅酒を買おう。このようなストーリー性のあるツアー作りにも、力を注いでいきます。



茨城は米も野菜も果物も肉も魚介類も牛乳でもある!! とても豊かな県!!

ほえさ



お越しいただいた方の満足度を高められるよう、ホテルや観光施設内の多言語表記の支援、無料Wi-Fi環境の整備、外国人観光客のおもてなし向上のため受入体制を進めています。

茨城県 商工労働観光部 観光局 国際観光課 (国際語客担当) 課長補佐 竹谷 佐智子さん

台湾を象徴する花「梅」!! 台湾の人にも親しんでほしいですね!!



水戸の梅大使

梅酒と酒の資料館 別荘館

外国人観光客に一番人気の茨城土産は... 梅酒!! 酒蔵見学後、皆、持ち分だけ買って帰るんだとか!!



甘みの好む中国やタイの方は梅酒も好まれます。ベトナムの方は日本酒も好まれます。

寺内 章江さん

またまた、こんなエピソードも。ベトナムの団体ツアーが帰る時に社員さんお揃いでスマホで言おう、ベトナム語で「また、またさ」って叫んだら、皆、感涙して握手しに戻ってきたんだら。

英語が苦手でもおもてなしの心が通じますよ!!

明利酒造株式会社 常務取締役 小川 真幸さん



* ベトナム語で「またね」の意味

国営 びたち海浜公園

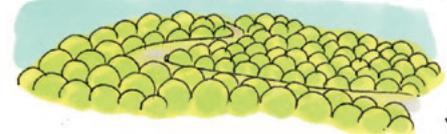
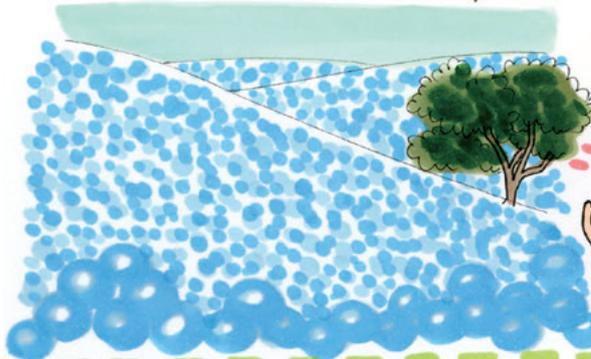
びたちなか市の海岸近くに広がる公園。戦前は日本軍の飛行場、戦後は米軍の射撃場だった。4月下旬～5月中旬に咲く青い花、ネモフィラ。一面が青い世界になる様子が、言われた外国人観光客のSNSの投稿が拡散され、またたく間に大人気スポットになったのだ!!

これがウワサの... **ネモフィラ畑** ✨

景色非常好き

ネモフィラ畑は、夏には**コキア**になり

秋には **クワコキア**が **真赤**に!!



中にモリノミヤノ、胸が展望台です

全長12.5m!!!

大洗

水戸から電車で約16分。あんまりな魚介類が豊富な**海辺の町**。2012年頃からは、戦車が登場する某アニメの**「聖地」**として、ファンがどよめ押し寄せ、人があふり歩いていけなかった商店街がにぎわうように。

海外のファンも台湾・香港などから来てるのだ!!



牛久大仏

あみアレルミウム・アウトレット

立位の巨大仏は珍しいようで、仏教徒の多し、東南アジア諸国をはじめ、**様々な国の観光客**が訪れています。また、徒歩25分ほどのところにアウトレットモールがあるため、牛久大仏を見学後に言われる人も...。中華圏からの団体客は、ツアーバスでアウトレットモールに行くことが多いです。

地元の人にもファンの間でも有名なんです!

日本7回目 / はるばるポランドから大洗に来るために日本語も勉強したという熱狂的なファンもいますよ!!



国籍問わず大仏さん大人気!!

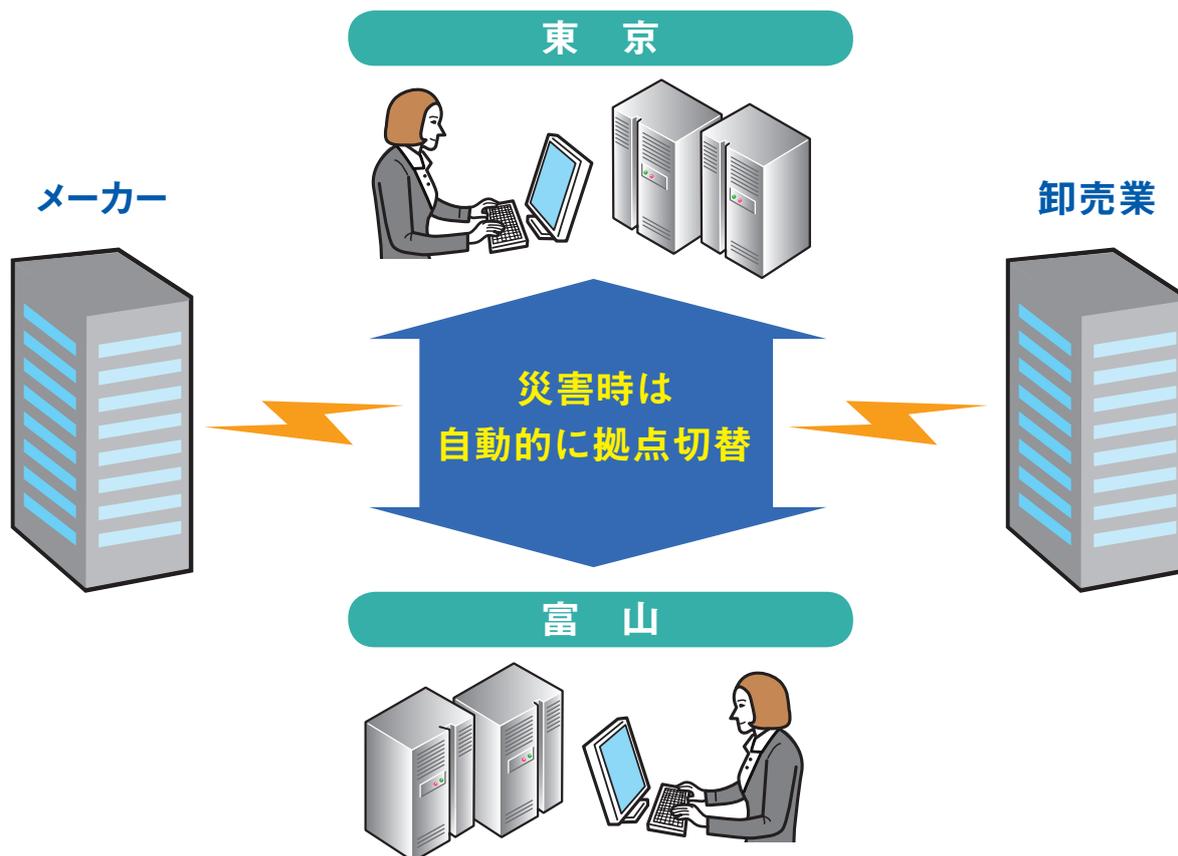
茨城空港

水曜をのぞき毎日、上海との国際便が飛着。また、茨城空港から**東京馬車行きの連絡バス**が出ており、航空機利用者も片道ワンコイン(500円)で利用できるというお得さ! 入国後、コトに乗って東京へ向かう人も多し。茨城県内で宿泊するの害に「なるぞ」レンタカーを利用する方も。



＋ 新しいネットワーク基盤のご紹介 ＋

2017年1月より、当社サービスのデータ処理を行うネットワーク基盤を段階的に入れ替えております。1月のWebサービスに続き、8月にはEDIサービスで入れ替えを予定しています。1986年のEDIサービス提供開始以来、第7世代となるネットワーク基盤についてご紹介いたします。



BCPの対応力を強化

当社では、将来発生するであろうといわれている首都直下型地震などの激甚災害に対し、対応力強化を進めています。新しいネットワーク基盤では、東京と富山の2拠点に同じ構成のシステムを配置し、これらの拠点間でデータ同期などを絶えず行うことで、いつでも短時間で稼働拠点を切り替えることができますようにしています。これにより、災害発生時におけるユーザー様の業務停止時間をこれまでよりさらに短くすることが可能となります。

今後のスケジュール

- ・2017年2月～5月(実施中): EDIサービス新環境への接続テスト[※]
※接続テストにつきましては、P.10の「PLANET LABORATORY」をご参照ください。
- ・2017年8月12日～13日(予定): EDIサービスのネットワーク基盤入れ替え

PLANET PLAZA

TOPIC 01

第17回JAPANドラッグストアショーに出展 ～「セルフメディケーション税制」のアンケートも実施～

2017年3月17日(金)から19日(日)までの3日間、プラネットは幕張メッセで開催された「第17回JAPANドラッグストアショー」に出展しました。

ドラッグストアが取り扱う日用品・化粧品やOTC医薬品などの流通における業務を効率化する「商品データベース」、「新製品カタログ」などの

サービスと、「訪日中国人の消費動向」や「インターネットにおける日用品流通」に関する最新の調査結果、旬の話題やトピックスを交えて消費者動向を紹介するニュースレター『From プラネット』を紹介しました。

また本年1月から始まった医療費控除制度「セルフメディケーション税制」について、ブース来場者を対象とするアンケートを行い、この集計結果を4月発行の『From プラネット』へ反映します。

弊社ブースにご来場くださったみなさま、誠に有難うございました。



TOPIC 02

親善フットサル大会、東京で開催

2015年5月に設立30周年記念スポーツ企画として開催し、ご好評をいただいたフットサル大会。3回目の開催となる今年は、6月3日(土)に東京で開催します。ぜひ奮ってご応募ください。

※最新の募集状況につきましては、親善フットサル大会のホームページをご確認ください。

<http://www.planet-van.co.jp/futsal2017/>



TOPIC 03

第2回目のインバウンドセミナー開催が決定

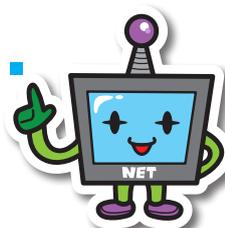
消費財の流通に携わるみなさまのインバウンド消費に対するご理解がさらに深まることを目指し、昨年に続いて第2回目となるインバウンドセミナーを6月21日(水)に開催いたします。

会場や講師など詳細につきましては、決まり次第、ご案内申し上げます。

PLANET

プラネット ラボラトリー

LABORATORY



このコーナーでは、プラネットのサービスやお寄せいただくお問い合わせについて
毎回詳しくご紹介・解説いたします。

？コトカエノテーマ？ EDI新環境移行に伴う接続テストとは？

2017年8月のEDIサービスのネットワーク基盤入れ替えに合わせ、事前に新環境での接続可否をテストできる環境をご用意しました。

プラネットEDIサービスを
・全銀TCP/IP手順でご利用のユーザー様
・AS2手順でご利用のユーザー様

接続テストの実施を
お願い致します

(注) MITEOS、Web発注、Web資材をご利用のユーザー様は、接続テストの実施は不要です。

EDI現行環境

EDI新環境のテスト環境

2017年8月12日～13日(予定):
EDIネットワーク基盤入れ替え

EDI新環境

2017年2月～5月：EDIサービス新環境への接続テスト

ココに注目！

★EDIサービスご利用ユーザー様は、新環境への移行後もスムーズに接続できるよう、事前の“新環境への接続テスト”で正常に接続できるかをご確認くださいませよう、お願い致します。お手数ですが、ご協力の程、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

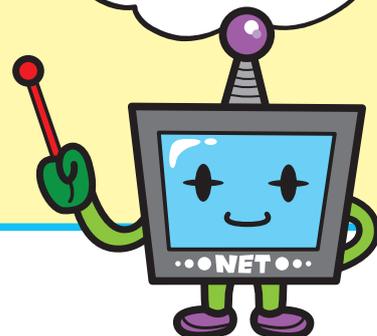
起こり得る現象

- 通信機器の相性による通信エラー
- 設定変更漏れなどによる接続エラー

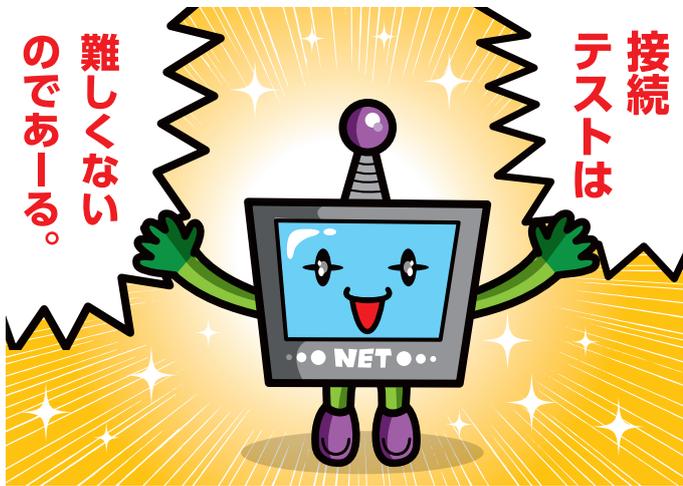
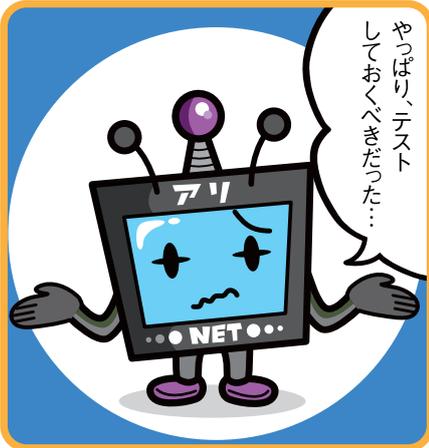
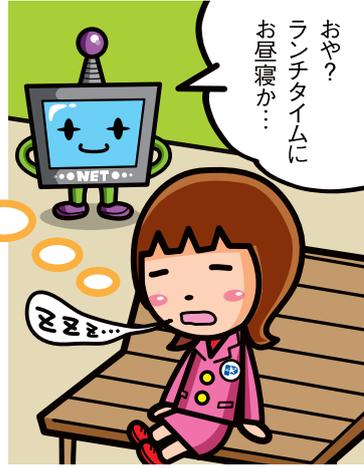
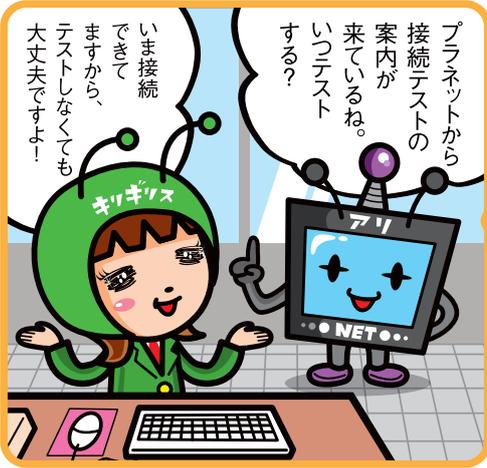
※ルータなど通信機器上にプラネット接続用の個別設定がないか、必ずご確認ください。

“新サーバへの接続テスト”および“新サーバへの本番移行”についての
詳細は別途ご案内しております案内文書をご確認ください。

接続テストについて
分らない事は
プラネットまでお気軽に
お問い合わせください。



お問い合わせ先 | 株式会社プラネット ネットワーク管理部
Tel. 03-5962-0812 E-mail syskan@planet-van.co.jp



プラネットEDIサービス品質改善に向けて

2016年におきましては、度重なる障害により、ご利用企業の皆さまに多大なご迷惑をお掛け致しました。現在弊社では、安全に弊社サービスをご利用頂けるよう、EDIサービス品質改善に向けての活動を行っております。現時点での取組状況について、以下の通りご報告申し上げます。

EDIサービスの総点検を実施しました

EDIサービス全般を対象とし、「システム設定」「処理多重度」「上限値」「リソース」の視点から点検項目を決定し、現在のサービスの利用状況を考慮した評価項目を設定することにより、それぞれの設定が理論値として妥当であるかどうかの点検を行いました。

➡ 設定として妥当であることを確認しました。

サービス提供と同等のシステム環境にて、多数のユーザー様から実際にEDIデータを送信された状態を再現し、大量のデータ量と送信ファイルの集中度による高負荷をかけた状態でEDIサービスへの影響を検証しました。

➡ EDIサービスの提供に問題のないことを確認しました。

ご利用動向のトレンド分析を実施し、システム改善につなげます

EDIサービスを今後も安全にご利用いただくことを目的とし、ご利用動向を、長期的なトレンドとして把握・分析し、その結果をサービスにフィードバックする活動を開始しました。

・ご利用フォーマットや通信手順、通信頻度などのご利用動向の変化、流通業界の動向によるシステムへの影響を可視化し、適宜システム改善につなげます。

異常検知時の対応および連絡の早期化

- ・各サービスの監視方法について、監視頻度やしきい値を見直すことでこれまでよりも早いタイミングで異常を検知できるようにしました。
- ・異常を検知した段階でご利用企業の皆さまへご連絡できるよう、運用を見直しました。

今後もEDIサービス品質の向上、運用改善を継続し、安全なサービス提供に努めて参ります。

お問い合わせ先 | 株式会社プラネット ネットワーク管理部

Tel: 03-5962-0812 E-mail: syskan@planet-van.co.jp

編集後記

今回の『新☆ジバング見聞記』で紹介した国営ひたち海浜公園の「みはらしの丘」は、例年4月下旬から5月中旬にかけて、ネモフィラで丘一面が青く染まるそうです。毎号の取材を通じて、日本の風景の美しさを改めて認識します。

表紙の花：ネモフィラ【ハゼリソウ科ネモフィラ属】

和名：瑠璃唐草(るりからくさ)

花言葉：どこでも成功、可憐

(『PLANETvanvan』編集事務局)

PLANET
van van 114

第114号 2017年4月

発行/株式会社プラネット
〒105-0013 東京都港区浜松町一丁目31番
文化放送メディアプラスビル3階
TEL. 03-5962-0811
発行人/田上正勝
編集協力/株式会社砦書房
デザイン/太田康士(Hitricco Graphic Service)
印刷/株式会社太平印刷社

